

# 止まり木



## 人の不幸の上に立って得られる幸せはない

今日の全校集会でみんなに「いじめ・いのちについて考える日」についてお話をしました。以下、改めて内容を簡単に書きますのでもう一度読んでみてください。



みんなにとって一番大切なものは何ですか？と問われたらみんなは何と答えますか？ 勉強、家族、友達、お金、それともスマホでしょうか。

校長先生は「自分の命」と答えます。では、この命はどこにあるのでしょうか？心臓と答える人もいるかもしれませんが。心臓は確かに大切な臓器だけれども、これは全身に血液を送るポンプであり、命ではありません。**命とは感じるもので、目には見えないもの**です。他にも目には見えないけれど大切なものに空気や酸素、風や光などがあります。これらがあるから私たちは生きていける。

このように**本当に大切なものは目には見えない**ということです。さらに「命はなぜ目に見えないのか。それは**命とはみんなが持っている時間**だからだと思います。死んでしまったら自分で使える時間もなくなってしまいます。どうか一度しかない自分の時間、命をどのように使うかしっかり考えながら生きていってほしいと思います。

2013年の5月に広島の中3年生の女子が自ら命を絶ちました。後の調査でいじめが原因だと判明しました。その後も尊い命がいじめが原因で失われることが何度となく起こりました。

それから各地でいじめについて考える日が制定されていき、大阪市では2017年から5月のGW明けの月曜日と制定されました。そして昨年からのいのちについても考えるということで、今日5月13日が「いじめ・いのちについて考える日」ということになります。

また、2019年には「大阪市いじめを考える中学生フォーラム」が行われ、その時にスローガンを決めることになり、「**いじめSTOP、見逃し0(ゼロ)**」が決議され、今もそのスローガンが続いています。みんなの命はかけがえのないものであり、どの命も大切です。自分の命も友だちの命も大切にしてほしいと心から思っています。しかし、そんな大切な命を奪うかもしれないのがいじめです。

いじめとは、「他の人から、何かを言われたり、されたりしたことで、苦痛やいやな気持ちを感じたら、いじめとなりうる」ということ。良かれと思って言ったことで、相手が苦痛を感じたり、嫌だと思えたりすれば、いじめになってしまうことを忘れないでほしいと思います。100%いじめる側が悪いのです。それはみんなもわかっていると思います。

そのうえで、これからも**いじめについて正しく知り、正しく考え、正しく行動**する事を心がけてほしいと思っています。だから、より良い仲間づくりのために周りにいる人たちの**よい所を探せる人**になってください。これが「**人を認める文化**」を築くということです。

そのためには、まずは自分のいのちの大切さを知らなければならないし、そうでないと他のいのちも大切にできないことになります。

人のいのちは一度きりで、**自分のいのちは自分に与えられた時間**だと先ほども言いました。

これから生きていく時間。それが君たちのいのちであり、一度しかない自分の時間なのです。だからこそ、どうかその時間を大切に、自分だけでなく他の人や物のいのちも大切にしていってください。そしてどうか忘れないでください。

『**人の不幸の上に立って得られる幸せはない**』ということ。

今日は一人一人が「いじめやいのち」についてしっかり考える一日にしてください。